

第1回鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会 議事概要

平成27年7月27日（月）

13:30～15:30

鳥取労働局 4階 大会議室

1. 開会

2. 開会の挨拶

《鳥取労働局長 河野委員》

○長時間労働の実態について、物の輸送以外に積込み・積卸し、手待ち労働時間など様々な要因が考えられ、トラック事業者の努力だけでは解消しがたい状況。

○厚労省としても、労基法改正案を国会へ提出し、長時間労働を抑制する観点から、月60時間を超える時間外労働の割増賃金率を5割とする規定について、中小企業への適用を猶予する措置を平成31年4月1日以降廃止する予定。

○物を製造しても販売しなければ意味がなく、そのための物の輸送は欠かすことが出来ない事項であり、経済活動がスムーズに行われるためにも、この協議会で取り上げる議題は重要と考えている。

3. 出席者紹介 ー委員名簿により紹介ー

・清水委員、谷口委員欠席

4. 議題

(1) 「鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」の設置について

会議資料により説明（鳥取運輸支局） ー省略ー

・協議会規約案を承認

・座長に鳥取大学の柘見副学長を選出

(2) 「労働基準法等一部を改正する法律案」について

会議資料により説明（鳥取労働局） ー省略ー

(3) 「協議会の運営等」について

会議資料により説明（鳥取運輸支局） ー省略ー

(4) 議題（2）、議題（3）について

《商工会議所連合会 山内委員》

- 現場のドライバーの声が一番大切である。
- パイロット事業に向けて、中小企業の労働環境の把握が重要。

《トラック協会 川上委員》

- 我々トラック協会が一番切望しているのは運転手不足の解消である。
- 従来から要望していた準中型免許が創設され、一定の運転手不足の解消が期待されるが、普通免許に加えて準中型免許を取る必要があり、コストがかかり時間もかかる。
- 運転手不足、燃料の高止まりなど業界を取り巻く環境は厳しい。
- ドライバーに対して相応の給料体制ができないことが人手不足の一つの要因になっている。

《トラック協会 前田委員》

- 過去にない取り組みだと感じている。
- それぞれの地域の特性や物の種類など全体を含めて色々なことを考えながら検討していくことが必要である。
- 協議会における検討等を踏まえて、全ト協と共同で取り組みを行っていきたい。

《山陰運送 竹内委員》

- 燃料代の高騰、高速代の値上がりなどに起因する労働時間等の超過が発生している。
- 高速道路の深夜割引適用のための時間調整も超過の原因の一つ。

《中部貨物 河野委員》

- ドライバー不足、高齢化など長時間労働の要因がある。
- 従業員に運行管理者基礎講習やフォークリフト試験を積極的に受けさせるなどして、運送会社がどういうものかという認識を深める教育を行っている。

《八幡運輸 八幡委員》

- 行政主導ではなく、陸送業者の自己責任、自助努力が必要。
- トラック協会、商工会議所連合会に於いても意識を高揚させる指導教育を行ってほしい。

《トミタ電機 神谷委員》

- 長時間労働には待ち時間だけでなくその他の要因も多くあることが分かった。
- トラック協会の会報に経営診断受診促進事業助成金の制度などが載っているので、そういった制度を活用することで、事業改善等に役立てるのではないかと。
- 運賃を上げず、安全に運送してもらえるのが1番。

《鳥取中央農協 戸田委員》

- 職員がドライバーの長時間労働等について意識していない現状がある。
- 今回の会議に出席するにあたって、配車計画の見直しなどを考えている。その一つとして、各個ごとに集荷されている花壇苗について、一個所にまとめて集荷することを検討している。

《交運労協 山崎委員》

- 長時間労働、低賃金など人材不足の要因を解消するため、協議会の取り組みに期待している。

(5) 「トラック運送事業における長時間労働の実態調査」について
会議資料により説明（鳥取県トラック協会） ー省略ー

(質疑・意見交換)

《鳥取大学 裕見座長》

- 実態調査について、事業者の方から何かあればお願いします。

《交運労協 山崎委員》

- 事業者の選定基準はどのようにするのか？

《トラック協会 前田委員》

- 県下各地区から大手を含めて、偏りのないように選定する予定。

《トミタ電機 神谷委員》

- 調査票の手待ち時間について、色々な理由があるとのことであり、分類が3パターンでは少ないのではないか？

《トラック協会 前田委員》

- 今後改善はあると思うが、このような全国的なアンケート取り組みは今回が初めてであり、まずは実態を知ることからというのが趣旨。

《山陰運送 竹内委員》

- 調査票の運転時間の分類について、高規格道路は一般道と高速道路どちらのくくりか？

《トラック協会 前田委員》

○高速道路に該当する。

(行政の意見)

《鳥取労働局労働基準部長 高橋委員》

- このように荷主や行政も一緒になって行う会議は、今までなかった形のもの。
- 現在、国会に労基法の改正案が提出されており、この法案の内容で可決・成立すれば、4年後には月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金率を5割とする規定が中小企業にも適用されることとなる。
- この協議会の設置趣旨は、改正後の労基法が施行される4年前の今年度から、様々な準備を行い、どうしたらトラック運転者の長時間労働が少しでも短縮できるか、改善していくか考えていくものである。

《鳥取運輸支局長 但住委員》

- 委員の皆様から色々な意見を聞かせて頂きながら、今後実態調査で実態を把握していき、最終的にガイドラインを作っていくことになる。
- 鳥取県として好事例を集めて広くひろげていき、労働時間等が改善できればと考えている。

(議長の意見)

《鳥取大学 裕見座長》

- パイロット事業では地域性の加味が重要。
- 自己責任、自助努力は必要であるが、それによってかえって長時間労働に陥る場合もあるのではないか。
- 仕事の分業をしていくと、拘束時間が運転時間に近くなっていくのではないか。

5. 閉会の挨拶

《中国運輸局長 河田委員》

- 今回の動きの大きな背景として、労働力不足の問題があり、従来でそのままやっていると、運び手がいなくなってしまう危機感がある。
- 運送のあり方を、旅客・貨物を問わずじっくりと関係者の皆様に集まって考えて行く必要がある。

6. 閉会